

令和8年度自殺危機初期介入スキル研修会(保健医療福祉関係)開催要項

1 研修目的

自殺対策において人材育成(ゲートキーパー養成)の推進を図ることは重要であり、ゲートキーパーとして自殺の危機にある人への初期介入ができるよう、具体的なスキルを習得することを目的とします。

保健医療福祉関係者を対象とすることで、自殺のリスクを抱える方やその家族等への支援の場面において、相談対応や関係機関との連携に活かすことのできるスキルを習得し、若年者の自殺対策を強化します。

2 主 催

群馬県こころの健康センター

3 研修内容

(1) 開催日時及び会場

	日 程	会 場
第1回	令和8年10月23日(金) 午前9時～午後5時	群馬県健康づくり財団 6階 大会議室 群馬県前橋市堀之下町 16-1
第2回	令和8年10月27日(火) 午前9時～午後5時	
第3回	令和8年11月27日(金) 午前9時～午後5時	

※ 第1回～第3回ともに同様の研修です。

※ 受付は開始の15分前から行います。終了は参加人数により遅延する場合があります。

(2) 講義・演習内容

自殺を考える人のサインに気づき、信頼関係を結び、自殺の危険性を把握し、専門家等へつなぐという一連の行動をワークショップ方式で習得します。

自殺危機初期介入スキル研究会開発「自殺危機初期介入スキルワークショップ」

第1セッション：導入、自殺に関する事実の確認

第2セッション：自殺に関するさまざまな考え、信念

第3セッション：サインに気づく

第4セッション：理解を深め、生きる理由を探る

第5セッション：危険性をはかる

第6セッション：安全確保、支える仲間へつなげる、フォローアップ

第7セッション：ふりかえり、セルフケア

(3) 講 師

群馬県内保健師

※自殺危機初期介入スキル研究会認定講師

自殺危機初期介入スキル研究会事務局：一般社団法人 Stand With

(4) 対 象 者

- ①一般県民への相談支援に携わる保健師をはじめとする行政関係者
- ②希死念慮がある人の支援に携わる病院関係者

- ③メンタルヘルス不調を抱える人の支援に携わる産業看護職及び就労支援関係者
- ④大学生・専門学生等の相談に携わる教育関係者
- ⑤その他、死にたい気持ちを抱えた人を支援する可能性のある者（民生委員、保護司等）
※ただし学生は除く

（５）定 員

各２０人（総合的に判断し、調整します。）

（６）参 加 費

無料

４ 申込期限及び申込方法

令和８年９月２８日（月）までに下記URLまたは２次元コードにより LoGo フォームからお申し込みください。

LoGo フォーム：

<https://logoform.jp/form/9cfD/1760205>



５ 受講決定通知

令和８年１０月９日（金）を目途に、申込者全員に受講の可否をメールにてご連絡いたします。入力いただくメールアドレスに誤りがないか、またメールの受信設定についてご確認ください。

６ 注意事項

- （１）本研修会は１日の参加とし、途中参加及び途中退出はできません。
※開始後２０分を経過した以降の参加は、お断りします。
- （２）昼食は、各自で事前にご用意ください。
- （３）群馬県健康づくり財団は、駐車スペースが指定されています。別紙(会場・駐車場案内図)を御確認ください。
- （４）当日は空調の調節が難しい場合があります。必要に応じて羽織るものなどをご持参ください。
- （５）災害やその他の緊急事態等により、会場の使用が制限される場合には、研修会をやむを得ず中止させていただく可能性がございます。中止となる場合には、お申込みいただいた皆様へ速やかに個別にご連絡申し上げますので、あらかじめご了承くださいませよう、お願い申し上げます。